



中間ほたる・メダカの会

連絡先 〒809-0021 中間市朝霧2丁目9-1

電話・FAX 093-244-4980



活動の目的

1. ほたる・メダカの飼育を通じ環境保全推進に努力します。
2. ほたる・メダカを通じ思い出のふる里づくりに取り組みます。

その他、複眼手法として「クコ」の植栽を行い、中間市特産品としたい。なお、本会の活動はボランティアとする。

活動のあしあと

1. 2006年1月、中間ほたる・メダカの会発足。
2. 2006年春、中間メダカの生息実態調査開始。平行してクコ植栽。
3. 2006年5月ほたる再生飼育開始。メダカマップ作成。
4. 2007年5月26日
ゲンジボタル飛翔観察会開催。

会 員 数：95人

活動エリア：

遠賀川、曲川、堀川、山田川流域

今後の方向性（夢）

1. ほたるの定着実現と中間市内河川へほたる銀河拡大を夢見る。
2. 小学校のビオトープによる世代間交流を深め生涯学習、街づくりに協働貢献したい。

活動の内容

1. 「ほたる」の部

2006年1月、北九州市香月（香月・黒川ほたるを守る会）のご協力を得、ほたる卵より飼育を開始。5月7日飛翔、5月26日に観察会開催、参加者は約200人。乱舞するほたるに喝采、直ちに来年の飼育・準備にかかる。

2. 「メダカ」の部

中間市メダカマップ作成。保護活動遺伝子攪乱防止（移動禁止）をお願いしている。

3. クコの植栽（複眼手法として）

曲川源流ほたる活動に平行して「クコ」植栽を行っている。クコは薬草で医者いらずといわれ五臓六腑にきく。クコ酒、クコ飯、クコ茶、他料理に良し、緑化。せき、悪地崩壊地復旧に活用される。



『ほたる・メダカは
環境保全のシンボル』です。